

吉川レポート

発行者：吉川まちづくり自治協議会 吉川地域センター
 ☎082-429-1879(吉川地域センター)
 開館時間(原則) 月～金：8時30分～12時(利用がある場合を除く)
 センター：yoshikawa-k@city.higashihiroshima.hiroshima.jp
 自治協：yoshikawajitikyo@outlook.jp

発災時の避難所運営を学ぶ 2月23日地区自主防災訓練を実施



【防災訓練会場の模様】

吉川まちづくり自治協議会・吉川地区自主防災会は、2月23日吉川地区自主防災訓練を吉川地域センター(指定避難所)で開催しました。

今年度の訓練は、「避難所の対応すべき課題を学ぶ」をメインとして開催しました。

8時30分各地区から避難所へ移動する中でルート上の危険個所の確認していただくことから訓練を開始。9時前までに訓練参加者31名全員が到着しました。同時進行で避難所の炊き出し班7名は8時からアドバイザー田淵敏見栄養士の指導を受けて、避難所の食事作り体験を開始しました。



【まち歩き後の話し合い】



【炊き出し班の学び】



【機材の説明】



【開錠装置の説明】

参加者は、各地区に分かれて、避難ルート上の危険個所を令和6年度作成の避難マップと検証するグループワークを行いました。その中では、側溝の掃除、古河川川底の泥上げ、通勤・造成関係車両が増えている中での安全確保、堰堤完成後の危険個所の見直しなどが提起されました。

続いて市危機管理課の指導を受け、避難所で使用する機材の確認と遠隔開錠操作体験を行いました。今回は携帯トイレの使用方も学びました。

市地域共生課、市社会福祉協議会の指導で避難所における衛生管理と福祉避難所について聞きました。参加者からは、避難所に向けて要介護者を避難移動する方法と避難所での介助方法が質問として出されました。

食事体験の前に炊き出し班の指導をした田淵栄養士が「避難所における食事づくり」を阪神淡路震災の体験を折込み、今回の炊き出し内容を解説しました。

その後全員で炊き出し班が準備した味噌玉・白玉あんこのせとカレーライスの食事を体験しました。最後に、アドバイザーとして出席した皆さんから講評をいただき、令和7年度防災訓練を終了しました。

参加者からは、引き続き防災訓練を開催し、多くの方が体験することを望むなどの声が寄せられました。



【避難所の食事例を説明】

3月6日：八本松中学校卒業式
 3月7日：八本松 NW 協議会
 3月8日：不燃性粗大ごみ回収(清水原・東郷)
 3月20日：避難の呼びかけ体制づくりセミナー(市)
 3月13日：吉川保育所卒園式
 3月14日：吉川小学校卒業式
 3月28日：吉川自治協全役員会議
 3月29日：八本松町内自治協連携会議イベント(市)：市等の主催行事

吉川活性化PJT 会議を開催し地域の動きを聞く



【第31回PJTチーム会議の模様】

吉川地域活性化プロジェクトチーム会議(吉川PJT会議)を2月19日に開催しました。今回は、3月末で閉鎖するみずほカントリークラブの跡地を活用する東広島開発(フジタ)の代表

者から当面の跡地利用と今後の展開の話听取了。当面はマイクロン社造成受注工事のバックヤードとして跡地を活用するものの、吉川地区の潜在力にも注目したまちづくりに関わりたいとの意向が示されました。地域からは高齢化・第1種農地などの現状を提起し、東広島市が描く「緑豊かな居住環境と共存したまちづくり」への考え方を聞きました。PJT会議は今後も地域に関わる同社の考えを聞き意見交換することとしました。

※吉川PJT会議：2019(平成31)年2月に①よしかわビジョン②住宅地促進策③移住促進策、について検討することを目的として吉川まちづくり自治協議会に設置した委員会。メンバーは、マイクロン社、ひとむすび、東広島市関係部所、財産区と自治協役員で構成。市街化調整区域かつ第1種農地の縛りのある吉川地域で新たな宅地が持てるような仕組みを検討。地区計画・50戸連坦・優良田園住宅制度を検討し行政にも働きかけをしてきたものの厳しい状況となっている。令和6年3月から適用となった50戸連坦エリア指定が現在唯一新たな住宅建設の許可条件となっている(分家住宅を除く)

八本松町内住民自治協連携会議主催 槌山城址麓長寿の森でのイベント 3月29日開催に向け準備進める

当日ゲームで使用するドローンの試験飛行を2月21日現地で行い問題なく終了しました。3月14日締切として参加者受付をしていますので吉川地域センターに申込み下さい。

アドバイザーとして協力をいただきました。ありがとうございました。戸光毅八本松出張所長、危機管理課井関真実主任、青木直哉主

査、中東亮地域づくり推進課主事、八本松住民自治協議会土久岡章治会長、牧野美三夫防災部会長、田原潤市社協地域福祉課主査、地域共生推進課佐藤潤課長補佐・大浜ちほ子保健師、田淵敏見栄養士

【食事体験】



ポイ捨て缶・瓶などの回収作業を実施

2月1日、吉川地区全域で道端等に投げ捨てられた缶・瓶や投棄ごみの回収を行いました。一般ごみの投棄が増加しています。早朝から作業に関わられた皆さんお疲れさまでした。



第4回高齢者向け勉強会を開催



1月29日第4回の高齢者向け勉強会を吉川げんき塾との共催で開催しました。最終回のテーマは市が4月から始めた「終活情報登録事業」＝身寄りが無い高齢者の死後の手続きの不安解消とした事業、の説明とコグニサイズ体操。市社協と地域包括支援センターの指導で行いました。一人となってもお願いすることの内容を整理しておくポイントを聞くことができ、参加者からは参考になったという声を聞くことができました。

春に向けての野菜管理、花いっぱい運動の展開支援



今年度第4回野菜講座に13名が参加し開催されました。講師はJA 八本松南アグリセンター播磨さん。春を迎える玉ねぎなどの管理方法を学びました。講座の最後に地域で進めている“花いっぱい運動”の一つとして、空いている畑などに花を植えて育てていただくための花の種配布と合わせ、育て方を教えていただきました。

令和8年度も講座は継続となり、第1回は5月7日を予定しています

学校運営協議会に地域として関わる

八本松中学校学校運営協議会の委員を中心に2月16日～18日、高校入試に関連し「地域と連携した自己表現の指導(面接練習)」に参加しました。この取り組みは昨年度からスタート。生徒さんを含め中学校からも継続を願う声が出て今年度も実施となりました。

<今月の句>

朝日中きらきら舞へる細雪 記代
春待つや選挙看板立ち並び ユキ子

地域センターで活動する皆さんの作品をロビーに展示しています。展示希望の方も受付けています。

▽俳句教室の皆さんの作品。

句会は毎月第1月曜日9時30分から始まります



吉川地域センター
ロビー展

↑書：二宮真知子さん



<書道教室の皆さんの作品です。教室は毎月第2・4月曜日午後1時半から始まります。>
お題
初春

令和8年3月 吉川地域センター 講座他予定表

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2 俳句教室 大正琴	3 健康体操	4 クラフ教室	5 げんき塾 ヨガ教室 拳志館	6 着物リフォーム 史跡保存会	7 空手
8 床ワックス	9 書道教室 拳志館	10 健康体操 編物教室	11 琴の会 管財課	12 げんき塾 ヨガ教室	13 着物リフォーム カサ教室	14 空手
15	16 大正琴 拳志館	17 健康体操	18 三弦の会	19 げんき塾 ヨガ教室	20 育成会	21 空手
22	21 バランスポール 書道教室 拳志館	24 健康体操 編物教室	25 琴の会	26 げんき塾 ヨガ教室	27 着物リフォーム カサ教室 のはな	28 全役員会 空手
29 3自治協 イベント	30	31 健康体操	開催日など変更となる場合があります。			

地区社協で配食事業を実施

吉川地区社会福祉協議会(平崎朱美会長)は、高齢等対象者宅(75歳以上の独居者、ともに85歳以上の2人住まい)への配食事業を2月9日に行いました。当日朝、吉川地域センターに地区社協役員、民生児童委員、見守りサポーターなど13名が集合し、36食分の弁当を調理し、昼食に間に合わせるよう担当地区に配達しました。

